

拠出金名：中西部太平洋まぐろ類委員会拠出金

国際機関等名	中西部太平洋まぐろ類委員会 (英文名称・略称) Western and Central Pacific Fisheries Commission (WCPFC)					
種 別	国連(事務局)		国連(基金・計画)		国連専門機関 (その他)	
所轄官庁担当局課名	農林水産省水産庁国際課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単 位	金 額				拠出率(%) (注)	ODA率(%)
	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2	レ ー ト		
平成18年度	49,267	444		1\$ = 111 円	(2006年) 100	100
拠出上位5ヶ国				国際機関等の財政		
	国 名	金額 (千ドル)	率(%)			
1位	日本	444	100	当該年度の収入 1,824千米ドル		
2位				当該年度の支出 1,695千米ドル		
3位				次年度への繰越 129千米ドル		
4位				会計検査機関名		
5位				Deloitte & Touche LLP		
上記の率及び順位は2006年のもの						
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
WCPFCは中西部太平洋のマグロ・カツオ類の資源管理を目的とした地域漁業管理機関である。我が国漁船は条約水域でマグロ・カツオ類総漁獲量の約8割を漁獲しており、我が国漁業者にとり重要な漁場。近年、効果的な資源管理の導入が急務となっており、WCPFCの果たす役割は重要であると評価。 合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価 WCPFCにおいては、拘束力を有する措置を含む保存管理措置等が導入されており、我が国としても、科学的根拠に基づく措置を支持する立場にある。このため、我が国を含む加盟国等が拠出金を提供し、漁獲量の正確な把握及び取締能力の向上等を実現することにより、機能強化が図られている。						
邦人職員数 うち幹部以上	1 人 うち 0 人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体に しめる率		9人 11%		
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考		
なし						
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
未定						

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2004年～2006年)。